

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	第2次枚方市安全・安心下水道整備計画（重点計画）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	枚方市												
計画の目標	下水道事業を推進することにより「安全・安心な市民生活の確保」を目指し、枚方市上下水道ビジョンに掲げる下水道の役割の実現を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,975	A	4,975	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	溝谷川ポンプ場の沈砂池及び沈砂池設備の整備率を25.0%（H27）から100.0%（H31末）に向上させる。 溝谷川ポンプ場の沈砂池及び沈砂池設備の整備率 沈砂池及び沈砂池設備の整備済み池数（池） / 沈砂池及び沈砂池設備を整備すべき池数（4池）	25%	50%	100%
2	新安居川ポンプ場のポンプ能力を34.4%（H27）から78.3%（H31末）に向上させる。 新安居川ポンプ場のポンプ能力 整備済みポンプ能力（m3/s） / 整備すべきポンプ能力（19.833m3/s）	34%	56%	78%
3	さだ排水区における浸水被害軽減計画に計画されたハード施設を33.3%（H27）から100.0%（H31末）に向上させる。 さだ排水区における浸水被害軽減計画に計画されたハード施設の整備率 整備済みハード施設（基） / 整備すべきハード施設（3基）	67%	83%	100%
4	楠葉排水区における浸水被害軽減計画に基づきハード施設の実施設設計を行い（H28）、ハード整備率を0.0%（H29）から69.1%（H31末）に向上させる。 楠葉排水区における浸水被害軽減計画に計画されたハード施設の整備率 整備済みハード管渠延長（m） / 整備すべきハード管渠延長（1,556m）	0%	34%	69%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果 備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠 (雨水)	新設	さだ排水区浸水対策	貯留施設N=1、貯留管φ3,500、L=1,232m	枚方市	■					687	—	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画																	
	A07-002	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	ポンプ場	新設	溝谷川ポンプ場増設	沈砂池及び設備N=3	枚方市	■					359	—	—
		下水道浸水被害軽減総合計画																	
	A07-003	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	ポンプ場	新設	新安居川ポンプ場、他	用地・流入渠・沈砂池・導水渠・本体・吐出水槽・ポンプ設備・電気設備	枚方市	■	■				1,419	—	—
		下水道浸水被害軽減総合計画																	
A07-004	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠 (雨水)	新設	楠葉排水区浸水対策	雨水貯留管φ5,000、L=1,021m、流入管φ600~2,000、L=535m	枚方市	■	■				2,250	—	策定済	
	下水道浸水被害軽減総合計画																		
A07-005	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	ポンプ場	改築	下水道長寿命化事業	点検・調査、計画策定、実施設計、対策工事 (ポンプ場 (遠方監視装置))	枚方市	■	■				260	—	策定済	
	下水道長寿命化計画																		
											小計					4,975			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

令和4年11月

本日の実施状況を記載させていただきます。

公表の方法

枚方市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道施設の整備により、浸水被害の軽減に繋がり、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・計画期間が令和2年度から令和6年度までの「第3次枚方市安全・安心下水道整備計画（防災・安全）」においても、安全で安心なまちづくりに寄与するため、下水道施設の整備・更新を進める。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	継続的にポンプ場整備を行い、目標を達成することが出来た。
	最終実績値	100%	
2	最終目標値	78%	継続的にポンプ場整備を行い、目標を達成することが出来た。
	最終実績値	78%	
3	最終目標値	100%	継続的に雨水整備を進め、目標を達成することが出来た。
	最終実績値	100%	
4	最終目標値	69%	現場施工時に貯留管の位置について再検討を行ったことにより、当初計画の目標値に対して差が生じたため。
	最終実績値	66%	

計画の名称	第2次枚方市安全・安心下水道整備計画（重点計画）（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）	交付対象	枚方市

